

令和5年度実施施策に係る政策評価の事前分析表

(国土交通省4-⑨)

施策目標		29 道路交通の円滑化を推進する						担当部局名	道路局			作成責任者名	道路局 高速道路課長 小林 賢 大郎 都市局 街路交通施設課長 服部 卓也		
施策目標の概要及び達成すべき目標		渋滞対策をはじめとした交通の快適性・利便性向上を図ることで、道路交通の円滑化を推進する。						施策目標の評価結果	③	政策体系上の位置付け	8 都市・地域交通等の快適性、利便性の向上	政策評価実施予定時期	令和5年8月		
業績指標		初期値	実績値					評価結果	目標値	目標年度	業績指標の選定理由、目標値(水準・目標年度)の設定の根拠等				
		基準年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度								
89	高規格道路(有料)の4車線化優先整備区間の事業着手率	約13%	令和元年度	-	約13%	約22%	約26%	約26%	A	約47%	令和7年度	・高規格道路(有料)の4車線化優先整備区間(約880km)のうち、事業着手済み区間の延長の割合を指標とする。 ・「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」(令和2年12月11日閣議決定)の指標・目標値を引用			
90	都市計画道路(幹線道路)の整備率	64.9%	平成29年度	65.3%	65.7%	66.5%	集計中	-	A	68.5%	令和7年度	・都市内においてまとまった交通を受け持つとともに都市の骨格を形成する都市計画道路(幹線道路)の整備については、都市における交通の快適性、利便性の向上はもとより、都市の防災性等、都市機能全般を向上させるものであり、都市計画道路(幹線道路)の計画延長に対する完成延長の割合を指標とする。 ・都市内においてまとまった交通を受け持つとともに都市の骨格を形成する都市計画道路(幹線道路)の整備については、都市における交通の快適性、利便性はもとより、都市の防災性等、都市機能全般を向上させるものであり、都市計画道路(幹線道路)の計画延長に対する完成延長の割合を目標値として設定。年0.5%の伸びを確保するよう目標値を設定。			
達成手段(開始年度)		予算額計(執行額)			R5年度当初予算額(百万円)	達成手段の概要					関連する業績指標番号	達成手段の目標(R5年度)(上段:アウトプット、下段:アウトカム)			
		R5年度行政事業レビュー事業番号	R2年度(百万円)	R3年度(百万円)	R4年度(百万円)										
(1)	道路事業(直轄・改築等)【再掲】(昭和27年度)	2023国交省22004200					行政事業レビューシート参照					71	-		
(2)	道路事業(補助等)【再掲】(昭和27年度)	2023国交省22018200					行政事業レビューシート参照					71	-		
(3)	有料道路事業等【再掲】(昭和43年度)	2023国交省22018300					行政事業レビューシート参照					71	-		
(4)	高速道路ネットワークの最適利用に関する検討経費(令和元年度)	2023国交省22038300					行政事業レビューシート参照					-	施策導入効果の計測に用いる交通データの分析 高速道路機構とNEXCOとの協定における高速自動車国道の年間の推計交通量を毎年上回る実績交通量		
(5)	今後の道路利用のあり方に関する検討経費(令和元年度)	2023国交省22038400					行政事業レビューシート参照					-	今後の動向を踏まえた道路利用に係る負担のあり方をはじめとする道路利用のあり方の検討等 今後の動向を踏まえた道路利用に係る負担のあり方をはじめとする道路利用のあり方に関する制度・政策・事例等を整理		
(6)	民間施設との連携による高速道路の快適な利用環境実現に向けた取組に関する調査検討経費(令和2年度)	2023国交省22038500					行政事業レビューシート参照					-	施策導入効果の計測に用いる交通データの分析 高速道路の休憩施設の空白区間を一時退出の社会実験も含めて解消		
(7)	持続可能な高速道路システムの構築に向けた取り組みに関する検討経費(令和4年度)	2023国交省22038600					行政事業レビューシート参照					-	有料道路制度見直しに必要な関連制度の収集 高速道路の制度の見直し		
施策の予算額・執行額			387,136 (243,412)	422,474 (284,915)	411,074	206,904	施策に関係する内閣の重要政策(施策方針演説等のうち主なもの)								
備考															